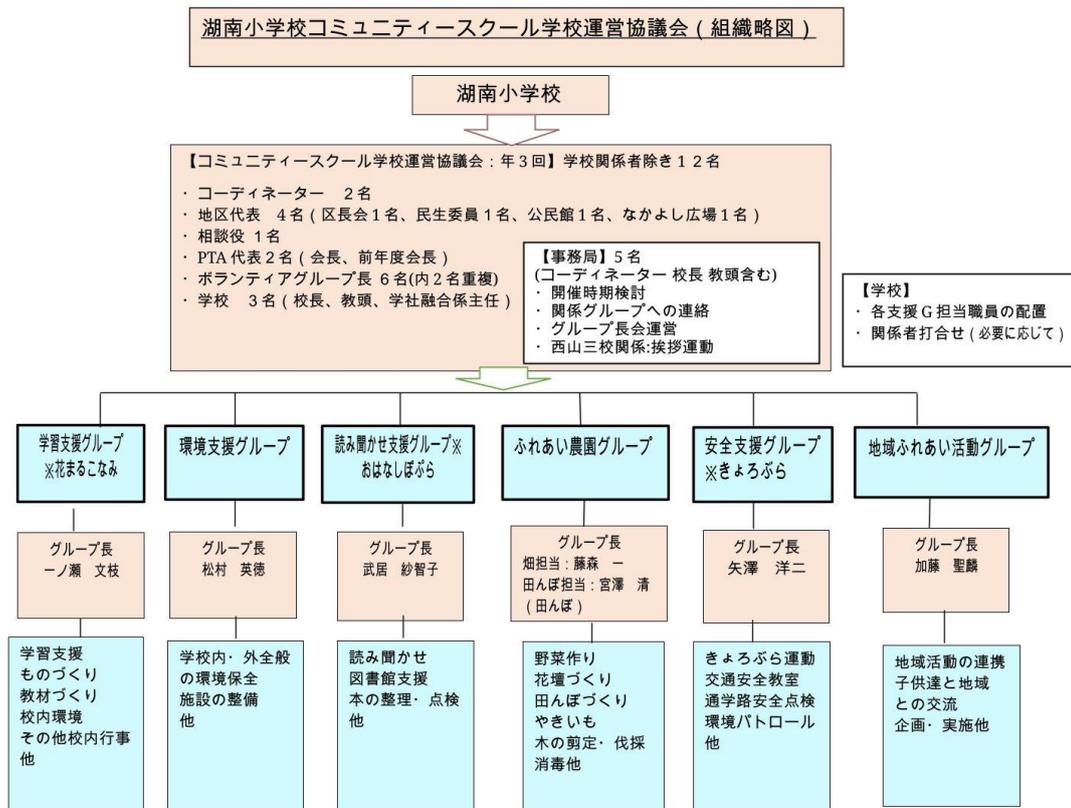


6 湖南小学校

1 組織図



2 学校運営協議会の歩み

- | | |
|---|--|
| <p>(1) 第1回 4月14日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介 ○学校運営協議会より <p>(2) 第2回 10月14日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会より ○学校より <p>(3) 第3回 2月25日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会より ○学校より ○今年度退任される方のご挨拶 | <p>18:00~19:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CS運営協議会の委嘱・名簿の確認 ・基本方針と正副会長、事務局会等の進め方について ・本年度の学校運営説明 (ランドデザイン・年間の行事計画) <p>18:00~19:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各支援グループの活動進捗状況、後半への取組についての確認 <p>18:00~19:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各支援グループ活動の総括(活動の振り返り来年度に向けて含む)、R7CS運営協議会体制について、各支援グループ代表者及び引継について ・来年度の学校運営方針・ランドデザイン等について、学校評価アンケート結果について |
|---|--|



3 地域学校協働活動の実際

大切にしてきたこと
「湖南で学び、未来を創る子ども」

藤原市の教育理念 未来創造「あい」プラン
ともに学び ともに育つ 未来につながる

令和7年度 湖南小学校グランドデザイン

学校教育目標 社会の中で、私もみんなも「大切」にする

めざす子どもの姿

美しい心

- ①自分を大切にする湖南の子
- ②相手を大切にする湖南の子
- ③地域を大切にする湖南の子

西山 PBS（ポジティブな行動支援）
「どの子どもにもポジティブな行動が生まれる働きかけをし
その行動を日常的に称賛しあう学校運営」
※ポジティブな行動：物事を肯定的に捉えいろいろな人と前向きに取り組む姿



「学校教育目標」や「めざす子どもの姿：地域を大切にする湖南の子」の③をめざし、今年度は主に

- ・ ボランティアさんと子どもたちの自然なつながりがもてる活動の模索
- ・ 各支援グループのボランティアの皆さんと行う活動（教科に関わって）
- ・ 子どもたち(各学年学級の学習・児童会クラブ)や職員からの声を地域講師につないで（コーディネート）してもらう活動

事務局

あいさつ運動（年間の当番決め）



「おはようございます。」大勢のボランティアさんが当番制で参加してくれます。この運動は西山三校の活動に広がり、第1水曜日には他校へも出向きあいさつ運動をしています。

毎週水曜日、昇降口前でボランティアの皆さんとともにあいさつ運動を行った。児童会の活動である「よいあいさつができた人へのメダル授与」や「昼の放送での紹介」は、ボランティアの皆さんのご支援もあり、西中学校へも広がりを見せ、大きな成果を上げた。来年度、中学校に入学する6年生が西中であいさつを通した活動を行うことは、6年生の中学進学に対する不安の解消にもつながるのではないと思う。また、西中からも小学生の取組を温かく前向きに受け入れていただいた。このつながりがつくれたのもボランティアさんのお力なくてはできなかったと思う。この活動の広がりが第1水曜日の西山3校のボランティアの皆さんがそれぞれの学校を訪問する活動につながった。今後もあいさつを通した3校の交流の輪が広がるようにしていきたい。

学習支援（花まるこなみ）

学習支援(わかくさ学級調理支援・小小交流見守り支援)ものづくり(1年リースづくり・6年洗濯ばさみねこなど)補助支援(検診・給食)



お月見団子おいしそう！



上手につくるぞ。

学校から出された支援の要望をはなまる連絡会で協議していただき、サポートに入っていた。支援の中では、必要に応じてアドバイスやサポートを行い、子ども一人ひとりに寄り添った支援を大切にしていた。

調理、ものづくりの支援では、計画段階で教材等や、よりよい学習になるためのアドバイスもいただき、児童にとって、学習の時間がより充実したものになり、ありがたかった。

環境

あじさいの柵作り・草刈り・草取り・落ち葉はき



ボランティアさんと一緒に環境整備活動

～C.S.学校運営協議会・環境グループより～

**あじさいの柵のとりかえ！草取り作業！
一緒にやってみませんか？**

園内には「C.S.学校運営協議会」があります。その皆さんが中心となって、色々なボランティア活動を担っているところです。今回は「環境グループ」からのお願いです！
この活動は、あいさつ活動の場、ボランティアさんからも募集しています。

日 時 7月1日(土) AM 8:00～9:00

集合場所 湖南小庭前

内 容 「あじさいの柵のとりかえ」と「草取り」

趣 意 草刈、草取り(休養できる支援)

持ちもの ○草袋 ○帽子 ○タオル等 ※「かま」は学校で貸します

参加方法 ○子ども一人の参加でも大歓迎です。家庭の都合と相い合わせ、交通費のルールを守り、送迎を済ませて来て下さい。

○お家の方、又は、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に大歓迎です！
駐車場が限られていますので、早々の参加をお願いします




【これまでの作業の様子です】
【土】の作業です、強制ではありません！出欠の連絡はとりまね、ご都合がつけばご参加ください。

年4回の環境整備作業を行っていただき、気持ちよく過ごせる学校づくりに尽力いただいた。この環境整備では、水曜日のあいさつ当番の際にボランティアの皆さんから直接児童に事前にチラシを配っていただき、児童、保護者の参加を呼びかけていただいた。ボランティアさんと児童と自然なつながりがうまれ、当日の参加にもつながった。

4回の環境整備以外に5・6年生とともに行った落ち葉はきも今年度は行った。昨今の異常気象のため落ち葉はあまりなかったが、日頃手の届かない場所の作業を行うことができた。児童もやりがいを感じて作業を行うことができた。

読み聞かせ

おはなしぼぷらとしての月1の読み聞かせを行っていただいた。様々なジャンルの本、それぞれの読み手の方々の児童が聞き入る読み聞かせを行っていただいている。おはなしぼぷらの日には昇降口廊下におはなしぼぷらの日であることがわかるような掲示が用意した。登校してきた児童がその掲示物を見ている様子からも、お話ポプラをととても楽しみにしている様子うかがえた。



読み聞かせ、毎回とても楽しみにしています！

ふれあい農園

田んぼ学習支援・畑・やきいも



草取りなど手が届かないところを丁寧におこなっていただきました

職員ではなかなかうまくでない畑の整備を行っていただいた。畑は、生活科、総合的な学習などで活用させてもらい、それぞれの学級、学年の活動になくてはならないものとなっている。夏場の草刈りを始めとして多くの作業、アドバイスをいただき、支えていただき、大変ありがたかった。

田んぼの学習では、職員、児童だけでは難しい部分を支援していただいた。手作業だけでは難しいため、機械も活用し行っていたが、今年度はこの機械の手配にも取り組んでいただいた。120 kgものお米を収穫することができた大きな原動力となった。

安全支援

きよぶら運動・交通安全教室支援・活動宣伝カード配り



安全を見守っていただき、いつもありがとうございます。

日常的な見守り活動を日々行っていた。不審者情報や熊の目撃情報が入ったときには、情報を共有し、緊急で見守り活動を行っていただくこともあり、大変心強かった。

年度当初の交通安全教室にもご協力いただき、路上に出たの実地訓練ができるのは、ボランティアの皆さんの安全指導や見守りがあるからである。

地域ふれあい活動



連日、大盛況だったふれあい活動



手の甲に乗せるルールのお手玉。子どもたち夢中です。



代表者のみんなから、ボランティアさん一人ひとりに手紙を手渡しました。

昨年度から引き続き、なかよし旬間中に2時間目休み地域ふれあいコーナー、ひまわりっこ集会と感謝の会を行った。ふれあいコーナーは低学年を中心に連日盛況だった。ボランティアの皆さんの温かいふれあいがあったこそだと感じた。ひまわりっこ集会でのアトラクション、ボランティアの皆さんも児童のアトラクションを回ることで、自然なつながりをもつことができ充実した集会になった。

続いて行った感謝の会では、昨年度と同等の多くの参加者があり、子どもたちが日頃の感謝の気持ちを多くの方に伝えることができた。また、その中でボランティアの皆さんの気持ちを子どもたちが感じ取ることができ、よりよい自然なつながりをもつことができたと思う。

4 成果と課題、次年度に向けて

(1) 成果

- ・今まで大切にしてきた活動を各グループリーダーさんが中心となって進めることができた。
- ・あいさつ運動を通して、3校の交流が深まった。
- ・ひまわりっこ集会にボランティアの皆さんのアトラクションを入れ、ボランティアさんが児童会のアトラクションを回るようにしたことで、互いに直接触れ合い、声を掛け合える楽しい機会となった。
- ・今年度も感謝の会をひまわりっこ集会と合わせたことで、地域の皆さんの参加が多かった。「子どもたちから元気をもたらえた。気持ちが感じられて嬉しかった。」と喜んでいただき、子どもたちもその雰囲気を感じ取り、お互いにとって良い会となった。
- ・環境整備に子どもたちの参加を呼びかけた。挨拶当番のボランティアさんに通知を手渡していただいたことで参加者が増えた。また、一緒に作業することで、自然なつながりをもつことができた。
- ・春の西山公園交流(2学年)を行った。その際両校のボランティアの皆さんも一緒に参加(見守り)してくださった。

(2) 課題

- ・CSのメンバー(各グループリーダー)・下校支援など、ボランティアの方の高齢化や人手不足が課題に挙げられている。

(3) 次年度に向けた展望

- ・ひまわりっこ集会と感謝の会、人権週間中の“2時間目休み地域ふれあいコーナー”の継続
- ・小小交流、小中交流の工夫(学年、回数、内容の広がりへ)今年度、あいさつ運動を通して交流の輪が広がった。継続進化の方法を探りたい。